

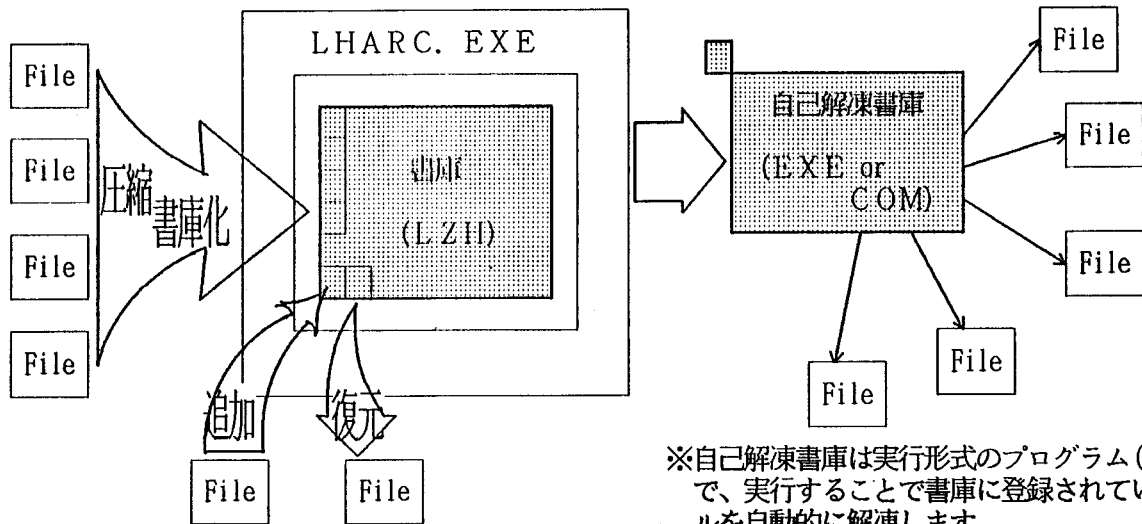
☆圧縮ファイルを解凍しよう！(LHARC)

LHARCはパソコン通信で多くのユーザを持つ、最も一般的なファイル圧縮用ソフトウェアです。このソフトウェアはNIFTYのFM TOWNSフォーラムでも利用される会員が多い為に、フリーウェアコレクション3の作品の圧縮に使用しています。(もちろんフリーウェアコレクション3にもLHARCは収録されています。)

圧縮ファイルの作成と圧縮ファイルの解凍手順について説明をいたします。

LHARCの圧縮ファイルの種類

LHARCは複数のファイル(一つでもOK)を圧縮しLHARCで取り扱える形式のファイルへひとまとめにする機能をもつソフトウェアです。LHARCで作成するファイルを「書庫」と呼び、書庫の管理はLHARCによって書庫に登録されているファイルの取出/追加は自由にできます。書庫からファイルを解凍(復元)する場合はLHARCが必要となりますが、更に自ら解凍を行う実行形式ファイルの「自己解凍書庫」を作成すれば、LHARCが無くても解凍(復元)が可能です。(パソコン通信では一般にこの形式で登録されています)



※自己解凍書庫は実行形式のプログラム(COMかEXE)で、実行することで書庫に登録されているファイルを自動的に解凍します。

ファイルの圧縮(書庫化)

最初にLHARCで作成できる圧縮ファイル(書庫)は二種類の形式があることをご説明しました。LHARCにはいろいろな機能がありますが、今回は複数のファイルを書庫化しその書庫を自己解凍書庫にする手順を紹介します。

(例題) Aドライブの中の全てのファイルを圧縮し、自己解凍書庫(書庫名/TOWNS)を作成する。

(LHARC.EXEはD:¥にあるとする)

(解答) 手順① FreeWearCOLLECTION 3から「コンソール」を起動する。

(MS-DOS V3.1で作業も可能)

手順② ?> D:LHARC a TOWNS A:*. * (ワカー) (Aドライブの全てのファイルを圧縮し
任意の書庫名 書庫TOWNS.LZHを?ドライブに作成する。)

手順③ ?> D:LHARC s TOWNS (ワカー) (先に作成した書庫TOWNSを基に
自己解凍書庫TOWNS.EXE(.COM)を作成する。)

TOWNS.EXE(.COM) 完成!

書庫の解凍

フリーウェアコレクション3のファイル表示で、使用したい作品の中に「.LZH」という拡張子のファイルが存在する場合は解凍を行わなければなりません。また、作品の中には先に紹介した「自己解凍書庫」形式の「.EXEや.COM」という実行形式ファイルの拡張子で表される物もあります。この二種類の書庫の解凍する手順をご紹介します。

(例題) カレントドライブの中のTOWNS.LZHを解凍する。(LHARC.EXEはD:¥にあるとする)

(解凍) 手順① FreeWearCOLLECTION 3から「コンソール」を起動する。

手順② ?> D:LHARC x TOWNS (ワカー) (TOWNS.LZHを解凍し、カレントドライブに展開する。)

(例題) カレントドライブの中の自己解凍書庫TOWNS.EXEを解凍する。

(解凍) 手順① TownsMENU又はコンソールでTOWNS.EXEを実行する。

(解凍結果はカレントドライブに展開される。)

詳細についてはフリーウェアコレクション3に収録されているLHarc V1.13cのREADME.DOCを参照してください。

編集・発行： 富士通株式会社 パソコンシステム統括部 FM TOWNSシステム部 第1システム課
〒144/東京都大田区新蒲田1-17-25 情報処理システムラボラトリ
NIFTY-Serve. ID = NAC02031 林